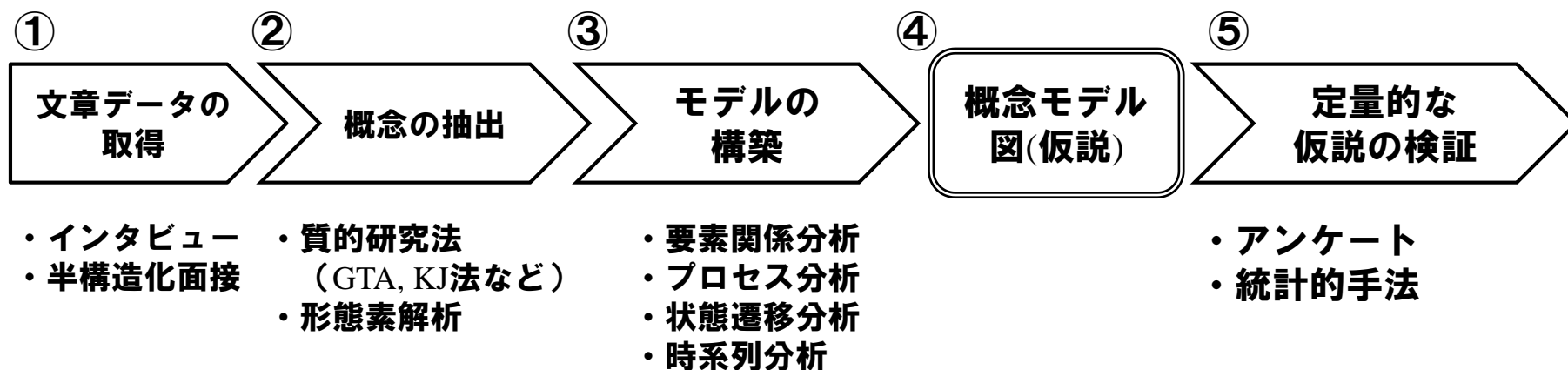

木野泰伸研究室の紹介

ソフトウェアモデル化技法を利用した モデル図作成法の研究

研究テーマの背景と目標

- 文章は、人が認知した内容を表現する一つの優れた手段である。
- 図も、人が認知した内容を表現する一つの優れた手段である。
- 本研究では、あるテーマについての複数の人の認知である文章を入力データとして、モデル図を作成する。
そして、その手順を明確化することも目標の一つである。

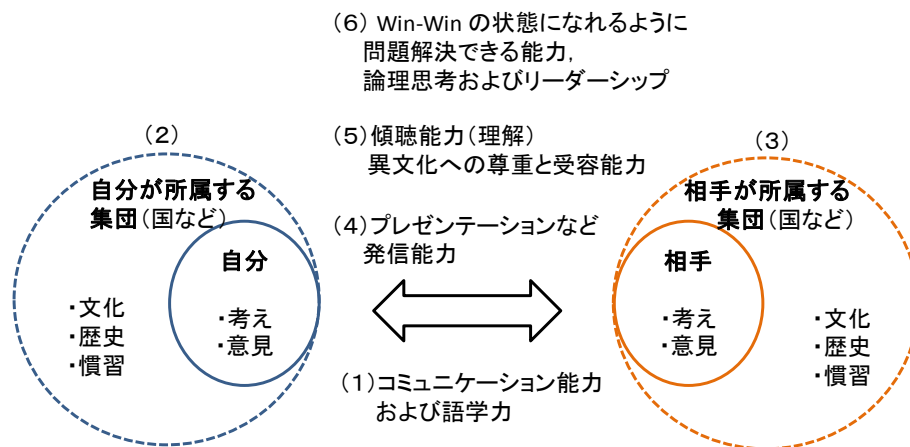
モデル図の作成手順例



- ⊖ ある事柄に対して、複数の人にインタビュー等を行い、文章化する。
- ⊖ GTA法、KJ法をはじめとする質的研究法を参考にしながら概念抽出を行う。もしくは、テキストマイニングの手法を用いて概念抽出を行う。
- ⊗ 抽出された概念間の関係を、ソフトウェアモデル化技法を参考にして、図式化する。これが概念モデルとなる。
- ④ 得られた概念モデルおよび該当分野の先行研究を基礎として、アンケート設計を行う。
- ⑤ アンケート結果をもとに、統計的手法を用いて定量的検証を行う。

事例

- ・ 高校生を対象にしたアンケート
- ・ 「将来、グローバルに活躍するために、どのような能力が必要だと思いますか？また、その能力を獲得するためにはどのような教育を受けたいと思いますか？」という自由記入の質問。
- ・ 1740件の回答を分析し、下記の図を作成した。
- ・ 本事例では、前ページの⑤定量分析は実施していない。



木野泰伸, 高校生が考えるグローバル人材に必要な能力とその構造, 横幹 Vol.10 No.2, pp.116–123, 2016.